

日医FAX ニュース



日医FAXニュース
編集・発行：日本医師会(03-3946-2121)

■ 「納得感が得られる社会保障の構築を」

— 国民会議が初会合 —

政府は2月26日、社会保障と税の一体改革を議論する「社会保障国民会議」の初会合を首相官邸で開いた。高市早苗首相は「給付と負担の在り方などについて、全世代を通じて納得感が得られる社会保障の構築に向けた国民的な議論を進める必要がある」と述べ、スピード感を持って議論していくと強調した。

●夏前に中間まとめ、早期法案提出目指す

国民会議では、まず給付付き税額控除と食料品の消費税率ゼロをテーマに議論する。高市首相は「夏前には中間取りまとめをし、結論を得ることができれば、できるだけ早期に必要な法案の国会提出を目指したい」と意欲を示した。給付付き税額控除の議論を進める過程で明らかになった社会保障制度の課題などは、改めて調整した上で協議を継続する。

国民会議は政府側と政党側の代表者で組織する。政府からは首相、担当閣僚が、政党からは各党の政策責任者と税制調査会長が参加する。

国民会議の下には、政府、各党の実務者による「給付付き税額控除等に関する実務者会

議」を設置する。専門的・技術的な論点を集中的に検討・精査するため、有識者会議も置く。有識者会議のメンバーは政府関係の審議会委員や、地方、経済界の代表者らを想定している。有識者会議の座長は国民会議、実務者会議に出席する。

初会合には、政党側から自民党、日本維新の会、チームみらいが参加した。高市首相は国民会議について、▽消費税が社会保障の貴重な財源であるという認識を共有している▽給付付き税額控除の実現に取り組む一政党と共同で開催するものと趣旨を説明し、今回出席しなかった党にも引き続き参加を呼びかけていくとした。

維新の藤田文武共同代表は「衆知を集めて、国民のためになる制度設計ができるよう、誠心誠意アイデアを出し、意思決定に参加していきたい」と述べた。議論の過程を国民に公開することを求めた。 【メディファクス】

■ 医療機関の建替え支援、交付額設定通知

— 厚労省 —

厚生労働省医政局は2月25日付で、建築資材高騰により建て替えなどが困難な医療機関を支援する「施設整備促進支援事業」の実施要綱を通知した。交付額の算定に用いる具体的な単価や基準面積、補助率を施設の種類ごとに示した。

2025年度補正予算で計上した462億円の繰り越し経費を用いる。25年4月から26年3月までに工事を契約し、着工した場合が対象。市場価格が既存の国庫補助による補助事業単価を上回った分を、面積などに応じて補助する。

実施要綱では、「病床の機能分化・連携のために必要な事業」「重点医師偏在対策支援区域での診療所の承継・開業支援事業」など計47事業の交付額の算出方法をそれぞれ提示した。

例えば「病床の機能分化・連携のために必要な事業」では、物価高騰を反映した単価55万8000円と標準単価48万4000円の差額である「7万4000円」に、基準面積の「1床当たり25平方メートル×整備病床数」と補助率の「3分の2」をかけた額を補助する。

通知の題名は「令和8年度（令和7年度からの繰越分）施設整備促進支援事業の実施について」。

【メディファクス】

■ 「子ども予防接種週間」を実施

— 日医、3月1日から7日間 —

日医は、2025年度「子ども予防接種週間」を3月1～7日に実施する。保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることが目的。ワクチンで防げる病気（VPD）から子どもたちを守るため、都道府県医師会などと連携し、さまざまな広報・啓発を地域の实情に合わせて企画・実施する。

期間中は以下の取り組みを行う。▽ワクチンや接種スケジュールなどの予防接種に関する保護者からの相談対応▽通常の診療時間に予防接種を受けにくい人が、土日や夜間などに受けられる体制の構築▽メディアを通じた広報活動▽予防接種についての接種医療機関や一般市民に対する情報提供▽子どものみならず保護者や同居する家族に対する感染症や予防接種に関する啓発活動—。 【メディファクス】

【お知らせ】

がん検診を受けることを呼び掛けるショート動画を公開

日本医師会では、がん検診を受けるべき年齢になった際には定期的ながん検診を受けてもらいたいとの思いから、このほど、ショート動画「にちい君と考えよう！がん検診」を制作し、公式YouTubeチャンネルで公開しました。

動画の中では、早期のがんは無症状なことが多く、日頃のケアが重要になると指摘するとともに、国民の皆さんができることの一つとして、がん検診を受診することがあると説明。その上で、(1)日本医師会のホームページ掲載の「知っておきたいがん検診」などを参考にしながら、がん検診についての理解を深め、適切な年齢、間隔でがん検診を受けること、(2)胃の痛みや不快感などの自覚症状がある場合には検診を受ける時期を待つことなく、早めにかかりつけ医に相談することなどを呼び掛けています。

ぜひ、ご覧下さい。

◆「にちい君と考えよう！「がん検診」（公益社団法人 日本医師会公式YouTubeチャンネル）

URL:<https://www.youtube.com/shorts/tMVnccL9zCE>

◇知っておきたいがん検診

URL:<https://www.med.or.jp/forest/gankenshin/>

◆問い合わせ先

日本医師会広報課 TEL:03-3946-2121(代)

本日の日医FAXニュースは2ページでの配信となります。ご了承ください。

日本医師会広報課